

自動車整備業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	整備工場でバックホウを整備中降りる際に、右足をついたときに膝裏に痛みがはしり、バランスをくずし転倒してしまった。	67	10～29
1	14～15	左足を軽トラックの荷台に載せ、右足をフロアにつけた状態で作業をしていたが、工具箱がフロアに着地した直後、身体の痛み（主に両手のしびれ）を感じ、倒れ込んでしまった。しばらく様子を見たが症状が改善されず、脊髄に損傷が見られ、状況によっては手術を要することになった。	27	30～49
1	14～15	当事業場内において車検整備作業中で点検車両の右後タイヤを車体に取り付けようとタイヤを持ち上げた際に左肩の筋肉を負傷した。	41	1～9
2	2・3	被災職員は同事業所内において、火災現場で使用した空気ポンペを交換する準備を行っていた。あらかじめ火災現場から連絡を受け、搬送用の台車に空気ポンペ30本を積載し台車を搬送する際、台車に対して腰部を反転させて搬送しようとしたために、腰部に激しい痛みを伴い受傷に至ったものである。	48	100～299
2	11・12	当社工場においてトラックのタイヤを外す作業中、なかなか外れずに力いっぱい引き抜いた際に体が持っていられ足をひねってしまい右足首を痛めたものである。	31	1～9
2	17・18	当工場内で軽自動車をジャッキスタンド4ヶ所を上げ左サイドステップの钣金修理をしゃがんだり、膝をついて、腰から上半身を左右に傾け修復作業をした。修復した部位にパテ付け作業をするため、パテを取りに行こうと立ち上がった時に腰を痛めた。	58	—
2	16・17	自動車完成検査場横、油脂置き場にてエンジンオイルの入ったドラム缶（200?）	31	—

		を移動中、立った状態から横に倒す時中腰での作業となり腰痛となった。		
3	18~19	車検の整備工場内で車両整備のため、工具を使用しエンジン側面のボルトを外す作業中、狭いところに無理な体勢で手を入れようとしたため、右手首を捻り捻挫した。	23	30 ~ 49
3	15~16	週に2回程度、シリンダーヘッドの全数検査業務があり、当日の検査作業を開始して間もなくシリンダーヘッド（約13kg）を持ち上げた瞬間、背中に痛みを感じたのでその日は早退をし安静にしていたが、翌日になっても痛みがとれず、胸椎・腰椎捻挫と診断された。	19	500 ~ 999
4	12~13	職場からリコール車を積載車に乗せて搬送し、駐車場で荷台に乗せた車から書類を取り出し荷台から降りる際、積載車の足掛けに右足を掛けたつもりが誤って右足を滑らせ、その瞬間に痛みが走り右足を負傷した。何とか職場に帰り、軽作業をこなしていたが、痛みがひどくなった。	50	1~ 9
4	11~12	工場内で作業中、段差のあるところをまたいでバランスを崩し、ねじって足をついた際に激痛とともに腫れが生じ、左足靭帯断裂を負った。	23	10 ~ 29
5	10~11	出張修理作業中に、乗用車のボンネットを開けるために、運転席足元前方にある、ボンネット解除レバーを引っ張る為に腰を折り左手を前方に伸ばして、レバーを引っ張る時に腰に強い痛みを感じ動けなくなった。	36	10 ~ 29
5	11~12	お客様の駐車場で、トラックのフロントガラス交換作業を行っていた際に、車内に乗り込み、外側へガラスを押し出そうとしたところ負傷した。	41	1~ 9
5	17~18	工場内にてクラッチ（直径48センチ、厚さ10cm、重さ50kg位）を2人で持ち上げ、軽トラックへ搬入しようとした際に左肩から左前腕を負傷した。	62	10 ~ 29
5	11~12	職場の修理工場内において、車のボディのゆがみを直すためパイプレンチで修正をしていた際、車の下からかなりの力で引っ張っていた時、腰の骨がずれて動けなくなってしまった。	55	1~ 9
5	13~	事業所内で車の整備途中、車両を後ろから押している際に右肩にひどい激痛が走っ	52	1~

	14	た。当日はそのまま仕事を行ったが、右肩の痛みは取れなかった。		9
6	15～ 16	2棟ある現場で、作業場所を確認して移動中に、スロープを通らず土間から直接道路に降りようと、道路標識の支柱に手を添え降りた時に、左肩を脱臼した。	42	10 ～ 29
6	13～ 14	トラックの左スライドドア側の荷台に置いたタイヤを、荷台前方右隅に積み重ねる作業中に、右後背部を痛める。	52	50 ～ 99
6	13～ 14	当社塗装工場にて、入社後より毎日集中的に塗装作業ばかりを繰り返し行っていた為、右手指・左肘等に痛みが出たものである。	42	1～ 9
6	9～ 10	工場の2階で、台の上に乗った軽自動車のフロントドアを、場所を移動させようと思いつち上げた時、背中にブチッと言う音がして、急に息が苦しくなってきた。	57	1～ 9
6	9～ 10	弊社整備工場で車検作業中、制動装置の部品交換を行う際、低い位置での作業のため、腰に負担がかかり痛みが起きた。	28	30 ～ 49
7	11～12	当社大型自動車整備場にて大型車タイヤを移動中に足を踏んばった時、異音が生じ強い痛みを感じた。	45	10 ～ 29
7	12～13	洗車作業中に右ひじに痛みが出始め、徐々に洗車作業を行うことにより肘の痛みがひどくなり、業務による酷使により右ひじが上がりなくなった。	37	30 ～ 49
7	11～ 12	塗装室で塗装作業中、エアホースリールのホース止めに登ってしまい、足を捻じり、膝を脱臼した。	56	1～ 9
7	17～ 18	工場内で、車輛整備のためドリルでボルトに穴をあけていたとき、誤ってドリルに指をとられてしまい、右手薬指を捻って骨折した。	35	1～ 9
9	14～ 15	会社構内の屋外で、トラック荷台の荷物を固定する作業中、別の人がトラックに乗り込み発進させた。被災者は無人状態でトラックが動いたと思いトラックを停止させる目的で荷台から降り、運転席のドアノブに手を掛けたところ、左に旋回する	59	10 ～ 29

		トラックに引っ張られて、左足首を強く捻り受傷した。		
10	11～ 12	工場内において、スポット溶接の作業準備中、スポット溶接機のアーム部にスポットガンをついてワイヤー掛けの為に、持ち上げた際、腰を痛めた。	29	1～ 9
10	20～ 21	本社整備工場内で、修理前のトラックを作業場所に移動させるために後方から押しているときに、足を踏ん張って左足ふくらはぎの肉離れを起こした。	33	10 ～ 29
10	17～ 18	工場内で車を修理していた。後方に、後ろ向き状態で下がったところ、10cm程の段差があり、そこで左足を挫いた。	49	1～ 9
11	14～ 15	当社工場内において出張作業の準備をしている時、トラックにガレージジャッキ（30～40kg）を積み込もうと持ち上げたところ、腰に激痛が生じた。	43	10 ～ 29
11	13～ 14	社内作業場で、前屈みで、オイル缶（20リットル）からオイルジョッキに注入中に、オイル缶が滑りそうになったので手を持ちかえようとした時に、腰に痛みが走り動けなくなった。	41	1～ 9
12	11～12	砂利の駐車場で事故車両の積込作業中、事故車両と荷台スライドスペースを確認し後部アオリを下げようと積載車に戻る時、地面の凹凸が前日の雪で見えず、右足を着いた時に指先に無理な力がかかり、足を負傷した。	40	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html